

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	2024年 6月 21日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市寺田大谷135-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 富士高分子株式会社 代表取締役社長 田代加平 電話番号：0774-53-3131

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2015
適用範囲	本社工場
導入年月日	2001年4月6日
認証番号	JQA-EM1501
基本方針	環境汚染の予防に最善を尽くし、省資源・省エネルギー・廃棄物の減量化等の環境目標を定め、環境マネジメントシステムを運用して目標を達成する。また、環境法令及び自治体等の環境規制を順守する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①焼却物の削減…前年度目標7.0%削減。 ②産業廃棄物の削減…前年度目標1.0%削減。 ③電力の削減…前年度実績の維持。 ④アセトン使用量の削減…前年度目標の維持。 ⑤ガス使用量の削減…前年度実績の維持。 ⑥一般廃棄物の削減…前年度実績の+4.4%。
目標を達成するための取組の内容	①歩留対策を実施し、焼却物の削減を図る。 ②定期的な処分を実施し、排出量のコントロールを行う。 ③各設備の節電対策実施。テマト警報による使用量のコントロールを行う。 ④ボイラーを更新し、効率的なガス使用をする。 ⑤省エネ対策を立案し、使用量を監視、効率の良い使用に努める。 ⑥各部署への分別指導、削減意識高揚のアピールを行なう。
目標を達成するための取組の進捗状況	①焼却物の削減…目標の2.56%増加。目標未達。 ②産業廃棄物の削減…目標の15.09%削減。目標達成。 ③電力使用量の削減…目標の3.02%削減。目標達成。 ④アセトン使用量の削減…目標の0.07%削減。目標達成。 ⑤ガス使用量の削減…目標の0.37%増加。目標未達。 ⑥一般廃棄物の削減…目標の17.57%削減。目標達成。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	②③④⑥は目標達成。①⑤は監視を実施。
事業活動に係る法令の遵守の状況	・省エネ法・城陽市地下水採取条例：1回/年 報告書提出 ・ボイラー及び圧力容器安全規則：性能検査…1回/年、自主検査…1回/年 実施中 ・浄化槽法：排水水質検査…1回/年 実施中 ・廃掃法：契約業者の許認可確認等…1回/年 実施中 ・産業廃棄物管理票に関する報告書…1回/年 報告書提出 他 遵守状況について： これまで違反及び行政当局からの指摘はありません。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2023年11月28日～29日 JQAによるISO14001定期審査を実施。現状の環境マネジメントシステムにて不具合はなく機能していると評価された。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。